



セキュリティ強化を目指しEDRシステムを導入 Mellanoxスイッチ+HCIを採用し 高性能でコンパクトなインフラ環境を実現

導入前までの経緯

- ・ 社内に侵入したマルウェアなどへの対応を素早く実施できる環境を整備すること
- ・ 高い性能・信頼性と効率性を兼ね備えたシステム環境を構築すること

導入後に期待される効果

- ・ EDRシステムを新たに導入し、迅速かつ的確なインシデント対応を実現
- ・ 省スペースでハイパフォーマンスな環境を Mellanoxスイッチ+HCIで実現



TIS株式会社

本店：東京都新宿区西新宿8-17-1
設立：2008年4月1日
資本金：100億円
URL：https://www.tis.co.jp/
業種：製造業
事業概要：様々な業種・業務に対応したサービス/ソリューションをトータルに提供する先進IT企業



TIS株式会社
管理本部 情報システム部
主査
本窪田 慶氏



TIS株式会社
管理本部 情報システム部
主任
上田 善久氏

標的型攻撃への対応を強化 すべくEDRシステムの導入 に着手

顧客企業のビジネス課題解決を支援するIT企業集団として、幅広い分野で事業を展開するTISインテックグループ。その中核企業の一社が、多彩なITソリューションをワンストップで提供するTISだ。同社では、ISO9001に基づく独自の品質マネジメントシステム「Trinity」を確立している。

顧客企業へのソリューション提供を手がける先進IT企業だけに、同社では社内インフラの整備・拡充にも意欲的に取り組んでいる。「近年ではVDIやモバイルツールといった働き方改革を下支えするシステムの導入にも力を入れています」と語るのは、管理本部 情報システム部 主査 本窪田 慶氏。また、主任 上田 善久氏も「お客様に最適なソリューション提供を行うために、まず自社環境への導入を行って経

験やノウハウを積み取り組みも進めています」と続ける。

その一環として今回実施されたのが、社内に侵入したマルウェアなどへの迅速・的確な対応を実現するEDR(Endpoint Detection Response)製品の導入だ。本窪田氏は取り組みの背景を「近年では脅威の悪質化・巧妙化が一段と進んでおり、侵入を前提とした対策が求められるようになってきました。当社でもEDR製品を自社導入し、標的型攻撃などへの対応強化やお客様へのソリューション提供に役立てたいと考えました」と語る。

今回導入されたシステムは、グループ企業も含めた約9000台のクライアントから操作ログなどの情報を継続的に収集。これをセキュリティ専門企業のSOC(Security Operation Center)で分析し、脅威が検知された場合には通報や該当端末の通信遮断などを行うというものだ。ウイルス対策ソフト導入などの対策は実施済みだが、前述の通り脅威の侵入を100%

防ぐのは困難。こうした仕組みを組み合わせることで、セキュリティインシデント発生時の対応スピードや作業負担を大きく改善することができる。

省スペース&高いパフォーマンスを評価し Mellanoxスイッチを採用

EDR製品の導入にあたり、基盤にはハイパーコンバージド・インフラストラクチャー(以下、HCI)製品の導入を決定。さらに、これと組み合わせるスイッチとして、ネットワークが提供するMellanox Technologies社製10GEthernetスイッチ「Mellanox SX1012X」を採用した。

環境を構築する上で考慮すべき点として、「クライアントの台数がかかり多いことに加え、関連分析を行う関係上、ログデータも数ヶ月分蓄積しておかなくてはなりません。このため、ロ

グ収集を担当するサーバーには、かなりのパフォーマンスが求められました」と上田氏は振り返る。

製品選定のポイントについて上田氏は、「通常のサーバー、ストレージ、スイッチでシステムを構築するとなると、かなりのスペースを占有してしまいます。その点、SX1012Xはハーフサイズなので、1Uスペースに2台並べて設置することが可能。これとHCIを組み合わせれば、1/2～1/4程度のスペースで環境を構築できます。加えて、高性能なMellanoxを置いたこの構成であれば、パフォーマンスの面でも十分に性能要件を満たせます」と語る。

ちなみに、同社のソリューション提供部隊でも、顧客企業へのHCI導入を行う際にMellanoxスイッチを組み合わせるケースが多いとのこと。こうした社内実績も、製品選定の決め手となった。

セキュリティ強化に成功 優れた性能にも高評価

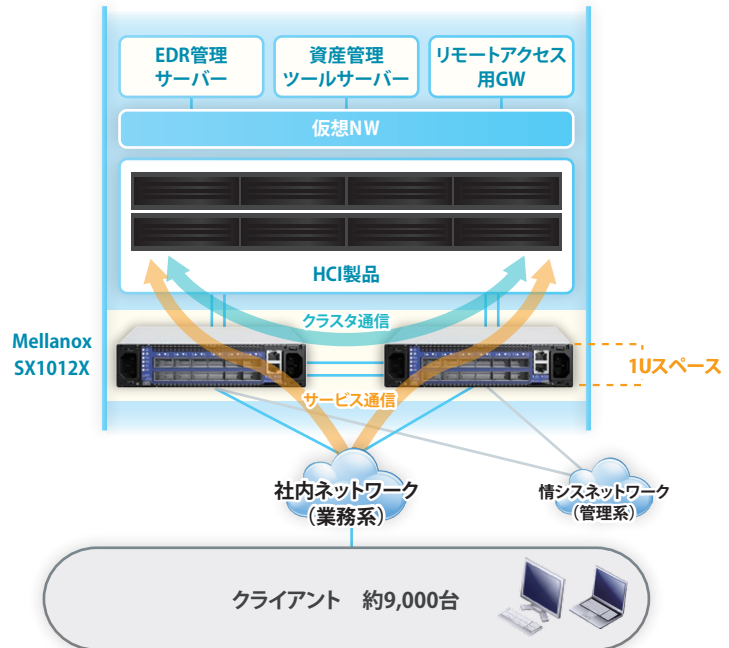
Mellanoxスイッチ+HCIによる新EDRシステムは、2018年1月より本番稼働を開始。システム内に侵入した脅威を早期に検知・対処できる環境が整ったことで、同社の情報セキュリティ対策もより強固なものとなった。「重大なインシデントにつながるような問題は今のところ一件も発見されていません。社内インフラの安全・安心を守る上で、大きな効果が現れていますね」と本窪田氏は語る。また、その有効性を自社環境で実証できたことで、顧客へのソリューション提供にも大きな弾みが付くことが期待されている。

Mellanoxスイッチのパフォーマンスも期待通りだったとのこと。上田氏は「データセンターのメンテナンスやクライアント側の事情で通信が一時的に止まった場合などは、再開後に大量のログデータが一気にサーバーに送られてきます。トラフィックもかなり増大しますが、Mellanoxスイッチを採用したおかげで、スイッチがボトルネックになるようなことは全くありません」と語る。

なお、無償で提供されるMellanoxの管理ソフトウェア「Mellanox NEO」はVMwareやHCI製品の管理ツールなどとの連携機能も有しており、ネットワークの監視・運用やプロビジョニングなどの作業をよりシンプルかつ効率的に行う

Mellanox+HCIで構築した社内サービス基盤

[EDR] エンドポイントセキュリティ対策
[GW] ゲートウェイ



■導入メリット

- ・ハーフサイズの為、全体のラックスペースを1/2～1/4に圧縮
- ・高性能なMellanoxを採用したため、トラフィックが増大してもネットワークがボトルネックにならない
- ・低コストで導入可能。さらにHCI製品と連携機能があり、親和性が高い

ことができる。今後は同社でも、こうした機能を積極的に活用していきたいとのことだ。

グループ情報基盤の最適化にも Mellanox+HCIの活用を検討

性能や使い勝手の良さに加えて、コスト削減の面でも大きな効果が現れている。「今回のプロジェクトではそれほど費用を掛けられなかったため、低コストで導入できるMellanoxスイッチを提案してもらったことは非常にありがたかった。この製品でなければ、これほどの低コストで環境を構築することはできなかったでしょう」と本窪田氏は語る。加えて、今回導入されたSX1012Xは消費電力も50Wと非常に少ないため、ランニングコストも抑えることが可能だ。

ネットワークの支援にも高い評価が寄せられている。本窪田氏は「社内向けのシステムにMellanoxスイッチ+HCIを導入するのは今回が初めてでしたので、ネットワークの技術支援やサポートには大変助けられました。勉強会などを通して、製品知識を深められたのも良かったですね」と語る。

さらに、グループ情報基盤の最適化を目指す取り組みにおいても、今回の経験を活かしていく考えとのこと。「社内ではまだまだ大量の業務サーバーが稼働していますので、そうしたものの集約効率をより高めていく必要があります。その有力な解決策として、Mellanox+HCIの活用も前向きに検討していきたい。ネットワークの提案や支援にも引き続き期待しています」と本窪田氏は述べた。

お問い合わせ

株式会社ネットワークド

<https://www.networkld.co.jp/>

✉ mellanox-info@networkld.co.jp

本社 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-11-15
住友商事神保町ビル
TEL : 03-5210-5020, 5031, 5095

関西支店 〒530-0001 大阪府北区梅田3-3-20
明治安田生命大阪梅田ビル 24F
TEL : 06-7664-5400

中部支店 〒450-0003 名古屋市中村区名駅南1-17-23
ニッパビル 10F
TEL : 052-588-7611

九州支店 〒812-0013 福岡県博多区博多駅東2-6-1
九勤筑紫通ビル 3F
TEL : 092-461-7815

*記載されている会社名および製品名、ロゴは各社の商標または登録商標です。
2019年5月